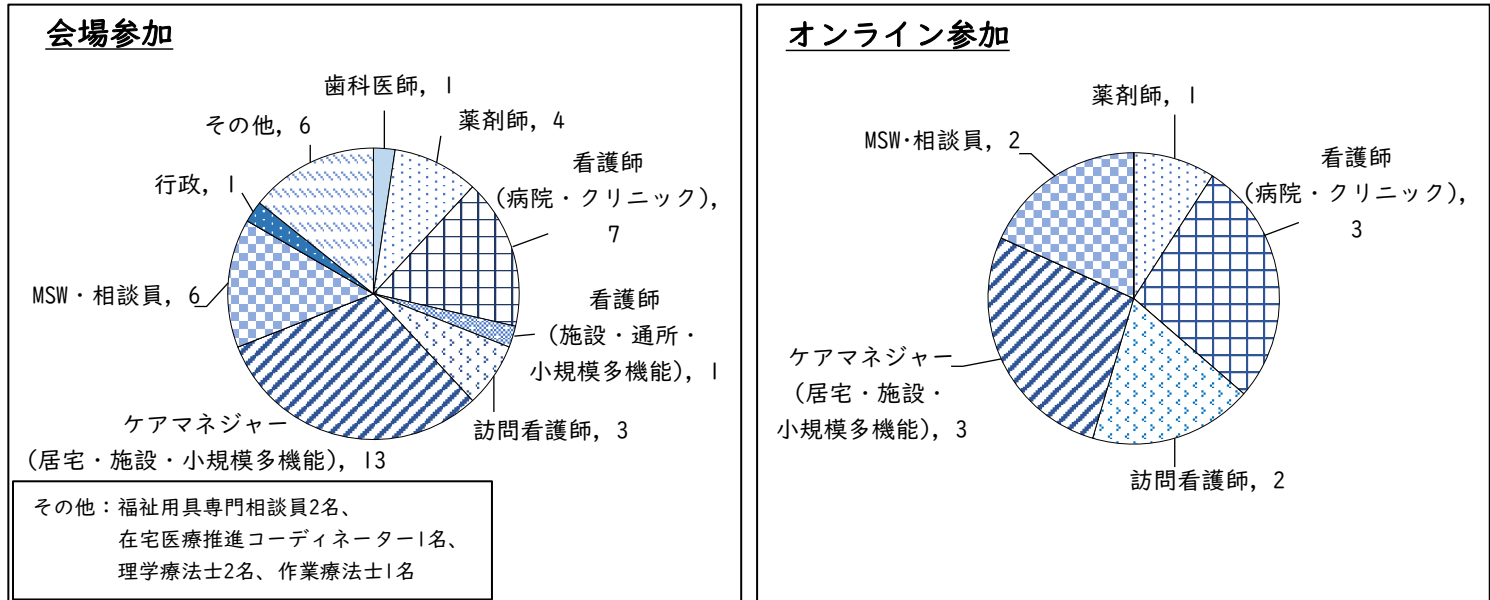


# 令和5年度 医療介護に関する意見交換会アンケート結果

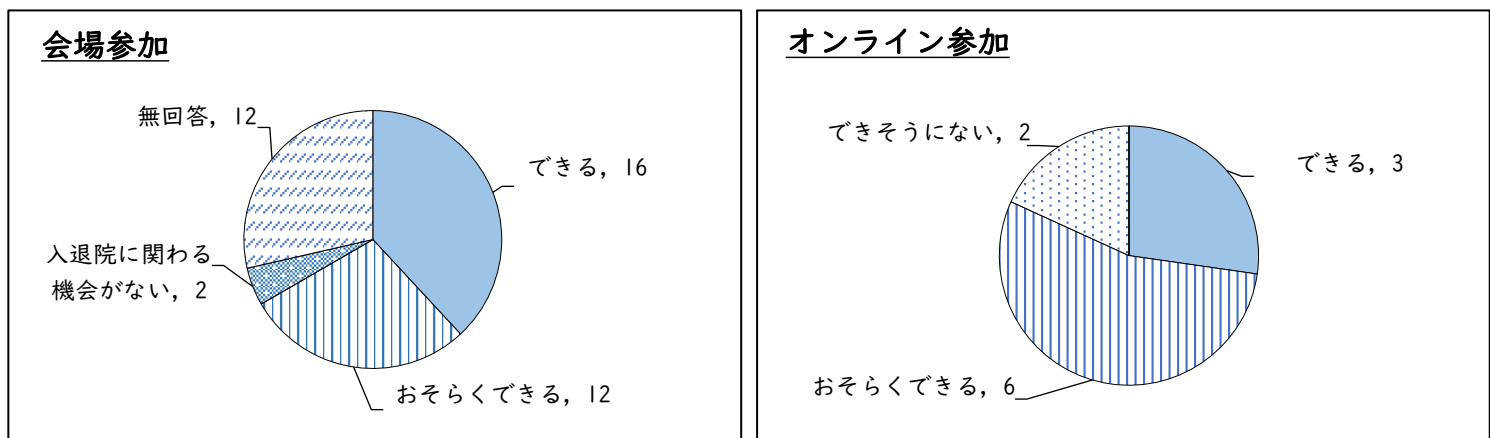
日時： 令和5年11月1日(水) 19時～

回答率： 会場参加 42/44名、オンライン参加 11/27名

## 1. (1)職種について



## 2. 本日の研修内容を日々の業務に活かすことができそうですか。



## 3. 「川薩地域入退院調整ルール」アンケート結果について、感想やご意見等があればお聞かせください。

会場	・多職種連携することの意味を考えて、それぞれが知恵を出し合って利用者さんによりよい支援ができればいいなと思いました。
	・医療機関とケアマネとの連携において、ADLが悪化した時の情報提供を早期にできるようにしていきたいです。
	・内容をまったく知らなかったもので、勉強になりました。
	・年々、医療介護と連携が増えていることで、やはり医療介護の協力・連携が大事だし、よりよい支援につながっていると思います。
	・連携が行えていないケースがあるのかと驚きました。
	・ルールの共有は、大事であると思いました。課題を見つける点でも、アンケートの比較は大事だと思いました。
	・日頃、業務で行っている入退院調整について、再確認ができた。業務として足りていることに気づくことができた。
	・病院側とケアマネと意見の取り違えがあることがわかり、より良い連携が図れるよう顔の見える関係性が必要だと感じました。
	・関係者に周知してきているなど実感しました。
	・川薩圏域以外にも広がってくれと、もっとスムーズに調整ややり取りができるのでは。
	・当院でも再度周知に努めたい。
	・直近の状況を理解できました。
	・アンケートの内容を少し変更してみるのはいかがでしょうか。続けることも大切ですが。
	・大変恥ずかしながら川薩地域入退院調整ルールについて初めて知りました。とても先進的な取り組みだと思います。薬局も積極的に関わっていきたいと思います。

会場	・早期からの目標の設定のためにとても大切なことであると思いました。
	・全医療機関がもっとルールを共有できたらいいと思います。
	・入院時情報提供書が必要ないというケースがあるのに驚いたが、何度も入退院を繰り返す方もいるということを知り納得した。
	・年々、周知されてきていることが確認できた。
	・地域連携に関わる部門、介護や訪問などは十分理解できているが、病院等で現場(病棟、外来)は個人差があり、周知する必要がある。
	・患者様、家族様の事を考え、取り組んでいく事が必要と感じた。
	・病院の療養型の職員、クリニック連携室の看護師等、違った視点から意見を聞いて良かったです。
	・在宅の主治医が、急性期の病院に紹介したが、途中経過を知らないのも課題だと思います。
	・連携パスは郵送するがどのように反映されているのか、全く結果がないので結果を教えてください。役に立っているのか不安です。
	・リハビリ職であり、ルールのことに関して今回初めて知る事ができた。
	・医療機関とケアマネ側、お互いの意見等を知れてよかった。
	・「入退院調整ルール」の存在を知りませんでした。申し訳ないです。今後、内容を読みます。
	・存じ上げないルールがある事が分かり、勉強になりました。
・参考になりました。ありがとうございます。	
オンライン	・情報を入退院時に貰ったり、聞き取りがあれば薬剤師として共有して参加できるかと思いました。
	・病院からの退院書類は看護サマリです。出している書類内容を調べて欲しい。
	・連携で困っている点が改善できるとよいなと感じました。必要かつ細かな情報が欲しいと記載する内容も多くなり負担が増えてしまい、タイムリーな情報提供に至らないこともあるのではないかと感じました。
	・最近、当院でも入退院調整ルールにのっとり、入院時の基本情報も早めにとり、退院が決まった時も早めにケアマネへの連絡を入れ、退院支援がスムーズに行われる様支援しているが、再認識する事ができた。
	・年を重ねる事に入退院調整ルールが活用されてきたと思っています。自分たちも仕事の中で活用できており、助かっています。
	・退院後、患者・家族が困らないよう、特に在宅に帰る場合は在宅生活をイメージした支援が病院・ケアマネにとって必要だと改めて感じた。
	・参考になりました。ルールの活用を今後もする必要があると再認識した。
	・ケアマネがイニシアチブをとって協働していくことの重要性が再認識できた。

#### 4. グループワークの感想やご意見があればお聞かせください。

会場	・多職種の方と話すことで現状やそれぞれの立場での意見を聞くことができてよかった。参考にして、今後の情報提供に生かしていきたい。
	・ケアマネ以外の立場からの意見が聞いて良かった。
	・独居の方の緊急連絡先が分からず苦慮したケースがありましたが、在介のコンピューターにデータが入っていると聞いて、とても勉強になりました。
	・多職種の方達と話ができることがありがたかったです。
	・自分の考えもおよばない視点での意見を聞くこと、知ることができてよかった。今後の支援に生かしたい。
	・薬局薬剤師としては入退院前に関わる機会がないのでどのように介入していけば良いかイメージがわかず、ついていけない感じてした。薬のことで何が求められているのか、ニーズも分かりませんでした。他の職種の方が何を考えて仕事をされているか知ることができて良かったです。
	・急性期SW、慢性・回復期リハ、居宅CMと多職種での話し合いが行え、意見交換もできて良い時間となりました。
	・入院時も退院時も多職種の情報共有と、情報交換していくことの大切さを改めて確認できた。
	・いろいろな角度での見方、意見が聞くことができた。
	・大変勉強になりました。法的な基礎知識が足りないのを実感致しました。
	・他職種の方々と、様々な意見交換できて、有意義な話し合いができた。
	・他職種の方の意見を、今後の自分の業務に活かしていきたい。
	・病院側に求められていることがわかった。
	・多職種からの意見を伺え今後の業務に活かせると思います。
・日頃、関わることの少ない機会の職種の方と話ができて、つながりが出来たと思います。	

会 場	・入退院に関わる双方からの意見が聞けて、今後自分がどういた視点をもって情報提供、収集していけばいいのの気づきがありました。
	・グループで意見交換ができ、多職種の意見を聞くことができ、とても良かったです。今後活かしていきたいと思えます。
	・皆さんが色々な意見を出して下さり、日頃から真剣に業務や利用者様に向き合っておられることがわかりました。多職種協働を進めていくために頑張りたいと思えます。
	・多職種で具体的に話ができて良かった。それぞれの職種の悩みごとを聞けて、検討できた。
	・様々な方の意見が聞けてよかったです。
	・来年度から始まる医療・介護の情報共有システム(かごネット)に現在の取り組みが上手く実装できればより多くの職種がスムーズに参画できると考えます。医療・介護の限られたリソースを有効活用する為にITシステム化は必要不可欠だと思いました。
	・それぞれの職種の垣根を越えて、それぞれの職能を生かしていけることが、大切であるとわかりました。
	・他職種の新鮮な意見を確認できて良かったです。
	・異業種の方の意見が非常に勉強になりました。
	・誰の為の連携なのか、みんなで再確認できたと思えます。
	・各々の職種の方々のグループワークができ、多職種の理解を深めることができた。
	・多職種の方と活発な意見交換ができました。
	・久しぶりにカンファレンスできて良かった。
	・ケアマネとして、川薩地域入退院調整ルールが看護師さんへ伝わっているのかな？というところで、グループワークでお互いの話を聞いてルールが助かっていることが分かり、このような意見交換ができて良かったと聞き、大切な機会になっていると感じました。
	・様々な職種の意見を聞いて参考になった。
	・他職種の様々なご意見を聞く機会を得ることができ、今後ENT支援におけるリハビリができることをもっと取り組んでいきたいと思えます。ありがとうございました。
	・普段リハビリに取り組む中で、基本動作やADL面に考えが固執してしまうことも多く、その人の思いやご家族の思いを十分に理解しリハビリの中にとり入れることが不十分であったと思う。また自分から情報を発信していくことも必要であると感じた。
	・多職種でのワークで、自分にない視点で考えていくこと、内容を知ることができた。
	・多職種からの意見交換ができたので今後活かしたら良いと感じた。情報共有が一番大切であり、各専門職スタッフの理解が必要だと思った。
	・もっとどんどん現場の職員さんも一緒になってグループワークができればと思いました。
・多職種連携の大切さを改めて感じた。	
・他の職種の立場の意見も聞けて良かった。患者様を思う気持ちは一緒なので、情報共有できたらその方にプラスに働くと感じた。	
・なかなか研修に来る機会がなく、グループワークは緊張すると思いましたが、色々な職種の方と話ができて良かったと思う。	
・連携は大事だし、やはり介護職や医療に関わる方は良い方が多いなと思った。	
・色々な意見が聞けて、大変勉強になりました。今後の退院支援に役立てていければと思えます。	
オン ライ ン	・オンラインでの参加でしたが、スムーズにディスカッションが行えました。もしも入退院がなければというテーマが分かりやすく考える時間になりました。
	・情報を共有して患者さんの状態や患者宅の状態をしてどのようにしていくのかを多職種で連携が必要と感じた。
	・グループ内の司会進行を決めていて欲しい。チャットは特に。
	・退院時、島に帰る方への支援に対して、福祉用具準備に2週間ほどを要すると伺いました。環境調整が整わない状況での急な退院は、利用者の再入院の危険性が高いと。早めのアプローチが必要であり、具体的な動きなどを動画で確認されている状況もあると。紙面だけでなく、写真や動画などでの情報共有は大切と感じました。
	・他の地域(こしき島)などの情報も知る事ができたので、今後離島の方が入院した時は、動画等でADL状況を送り、早めに情報を伝えていく事が大事だと思った。
	・他施設、病院の方の意見を聞き、他職種との共有の大切さ、カンファレンスの大切さを再度認識いたしました。明日からの仕事にも生かせるようにしていきたい。
	・色々な職種の方と意見交換することで、それぞれの立場に立った必要な情報、困っていることなどに気付くことができた。また、退院カンファレンスなどで多職種が参加しての情報共有もとても大事な事だと感じた。
	・薬局の現状、離島の情報など聞くことができて良かった。多職種の意見を聞く場があれば退院支援が更に充実したものになるのではないかなと思う。
	・司会者の調整で意見を言いやすかった。入退院情報は迅速に丁寧に行うようにしようと思った。

5. 今後の研修会で聴いてみたい・学びたい内容があればお聞かせください。

会 場	・ 次回の研修のとりみは、実習もあるとのこと楽しみです。
	・ 医療機関で治療後、在宅につなぐときに、その人に対してどのような在宅介護サービスを導入したほうがいいのか検討したい。
	・ 普段の連携の事例発表、悩んだこと、工夫したこと、その結果などを意見交換してみたい。
	・ 薬剤師ができる在宅への関わり方などを学びたいです。
	・ かごネットの有効活用について
	・ 医療介護保険制度のW改定について(より連携が円滑になるであろう変更点など)
	・ 自立支援について
	・ 老人福祉施設、老人保健施設との意見交換
	・ 同様の研修を定期的に行ってもらえると助かります。病棟スタッフも参加できる会もあってよいと思います。
	・ ハラスメントに関する研修会があれば助かります。
・ 福祉用具について	
・ 何でも学びたいと思っております。	
オン ライ ン	・ パワハラ、モラハラについて
	・ 病院の介護保険の必要な方のピックアップ方法等。
	・ 薬剤師の方が、在宅への介入状況や連携方法についてきいてみたいです。
	・ 独居の方への対応について
	・ 身寄りのない方の支援方法
	・ 後見人がいない方の入院・入所の対応について
・ 認知症高齢者で頻尿の患者様や利用者様の病態や治療、その看護・介護について	